

# 学習案内

シラバス

第2学年



鴻巣市立馬室小学校

## 2年生「国語」

### 【第2学年の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	主に学習すること	主な学習のねらい
4	ふきのとう	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。
5	たんぼぼの ちえ かんさつ名人に なるう	◎時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるようにします。 ◎経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができるようにします。
6	スイミー こんな もの、見つけたよ	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにします。 ◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができるようにします。
7	あったらいいな、こんなもの ミリーのすてきなぼうし	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができるようにします。 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることをできるようにします。
9	どうぶつ園のじゅうい	◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことができるようにします。
10	お手紙 そうだんにのってください	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにします。 ◎互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができるようにします。
11	馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができるようにします。 ◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができるようにします。
12	わたしはおねえさん お話のさくしゃになるう	◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができるようにします。 ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができるようにします。
1	おにごっこ	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにします。
2	楽しかったよ、二年生	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにします。
3	スーホの白い馬 すてきなところをつたえよう	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにします。 ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続きを確かめたりすることができるようにします。

### 【評価について】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもってしている。
- (3) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆音読カードを使い、声に出して読む学習を高めています。
- ◆ドリルやプリント、ワークシートを使い、文字を正しく書けるように繰り返し練習します。
- ◆読書タイムや読書週間に、読み聞かせのボランティアの方に協力をいただき、読書を奨励しています。
- ◆漢字が習得できるように、10問ずつの漢字ショートテストや学期ごとに漢字テストを実施しています。

## 2年生「書写」

**【第2学年の目標】**

- (1) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。  
 (2) 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができる。  
 (3) 点画相互の接し方、交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

月	学 習 す る こ と	学 習 の ね ら い
4	しよしやたいそう 字を書くしせい えんぴつのもち方  点や画の組み立て 書きじゅん	○しよしや体操をします。 ○文字を正しく書くときの姿勢を正しくするよう にします。 ○筆記用具の持ち方を正しくして書くようにし ます。 ○筆順に従って丁寧に書くようにします。
5	点と画の名前	○漢字が点画の組み合わせでできていることを 理解し、点画の名称を確かめるようにします。
6	「はらい」のほうこう 「おれ」のほうこう 硬筆展	○はらい・おれの方向に注意して文字を正しく 書くようにします。 ○硬筆展に向けて、文字の形を整えて丁寧に書 くことができる。
7	げんこう用紙に書くとき (こくご)	○原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形 に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くよう にします。
9	「そり」のほうこう 「点」のほうこう	○そり・点の方向に注意して文字を正しく書く ようにします。
10	画の長さ 点や 画の間	○点画の長短に注意して、文字を正しく書くよ うにします。
11	画のつき方と交わり方 点や画の書き方のまとめ  水筆で書いてみよう 字の形	○点や画の間・点画相互の接し方や交わり方に 注意して文字を正しく書くようにします。 ○とめ、はね、はらいに注意しながら、水書用 筆で丁寧に書くようにします。 ○文字の形に注意しながら丁寧に書くようにし ます。
12	字の中心 ことばを楽しもう (こくご) かんじ図かん	○今までに学習した知識・技能を生かして書く ようにします。 ○「馬・犬・鳥」の成り立ちを知り丁寧に書く ようにします。
1	まとめ 書きぞめ展	○これまでに学習したことに気を付けて鉛筆や フェルトペンで書きぞめの文を書きます。
2	書きぞめ	○今までに学習した知識・技能を生かして書く ようにします。
3	二年生の まとめ しょうたいじょうの書き方 (生 活) 「たいせつ」のまとめ  えんぴつのひみつ  できているかな	○鉛筆の持ち方を正しくして書くようにしま す。

**【評価について】**

- (1) 姿勢や筆記具のもち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。  
 (2) 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書いている

**【学習の特色や工夫】**

- ◆書き方練習帳を活用し、めあてを確認しながら進めていきます。
- ◆6月に校内硬筆展、12月に校内書きぞめ展が行われます。

## 2年生「算数」

### 【第2学年の目標】

- (1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。
- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### 【学習内容】

月	学習すること	学習のねらい
4	(1) グラフやひょう	○身の回りにある数量の特徴をとらえることに関心をもち、それらを分類整理して、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができるようにします。
	(2) たし算のひっ算	○筆算形式による2位数の加法計算のしかたについて理解し、それを適切に用いる能力を身につけ、高められるようにします。 (2位数と1～2位数の加法計算・加法の筆算形式)
5	(3) ひき算のひっ算	○2位数から1～2位数をひく減法計算のしかたについて理解し、それを適切に用いる能力を身につけ、高めていきます。
6	(4) 長さのたんい	○長さの比較などの活動を通して、長さの概念や測定、及びその単位についての理解を深めます。1cm=10mmの単位関係
	(5) 3けたの数	○1000までの数についてその表し方を理解し、数の概念について理解を深めるとともに、数を用いる能力を高めていきます。
7	(6) 水のかさのたんい	○かさはかり方を理解しそれを用いることができるようにします。かさの単位「デシリットル、リットル、ミリリットル」1l=10dl, 1l=1000mlの単位関係
	(7) 時こくと時間	○時刻と時間を区別することができ、日常生活の中で使える力を育てます。1時間=60分, 1日=24時間の単位関係午前、午後の意味
9	(8) 計算のくふう	○加法の結合法則、( )の使い方・簡単な加減の暗算のしかたを理解しそれを用いることができるようにします。
	(9) たし算とひき算のひっ算	○和が3位数になる、2位数と1～2位数の加法 計算や差が2位数になる、3位数から1～2位数をひく減法計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高めていきます。
10	(10) 長方形と正方形	○具体物の観察や操作による形の構成などを通じて、平面図形に親しみ、その理解の基礎となる経験を豊かにするとともに、三角形や四角形の概念を理解できるようにします。
11	(11) かけ算(1)	○乗法の意味について理解し、それを用いることができるようにします。「×」「かけ算」などの用語、記号 ・5の段、2の段、3の段、4の段の九九の構成
12	(12) かけ算(2)	○情報の分配法則を理解しそれを用いることができるようにします。6の段、7の段、8の段、9の段、1の段の九九の構成
1	(13) 4けたの数	○10000までの数の読み方、書き方について理解し、それを用いる能力を高めていきます。
2	(14) 長いものの長さのたんい	○長さの単位「メートル」や1m=100cmの単位関係理解し、長さについての加減計算に用いる能力を高めていきます。
	(15) たし算とひき算	○減法逆の加法、加法逆の減法の問題解決のしかたについて理解し、それを用いる能力を高めていきます。
3	(16) 分数	○具体物を用いて1/2や1/4などの大きさを作ること。また、1/2や1/4などの数を分数と呼ぶことを理解しそれを用いることができるようにします。
	(17) はこの形	○立体図形(立方体、直方体)の構成要素としての頂点、辺、面の特徴理解するとともに、立体図形の基礎的な概念を理解します。
	☆計算ピラミッド ☆2年のふくしゅう	○既習内容を使って、問題を解決する能力を高めます。 ○2学年の学習内容の総復習をします。

### 【評価について】

(1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。また、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。

(2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを身に付けている。

(3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆少人数・TT指導で学習を進めていきます。(算数科を中心として)
- ◆教科書だけでなく、ドリル学習や問題プリントを使った学習も進めています。
- ◆身近にある具体物を使ったり、実際に測ったり調べたりする活動をたくさん取り入れて学習を進めていきます。
- ◆既習事項を基にして自力解決の時間を設けます。また、自分の考えをノートにまとめたり、グループ、全体の中でお互いの考えを発表しあいます。

## 2年生「生活」

### 【第2学年の目標】

- (1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
- (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。

月	学習すること	学習のねらい
4	○わくわく2年生  ○めざせ野さい作り名人	○春の身近な地域の様子や自然を観察したり、新年生と交流したりする活動を通して、四季の変化や春の訪れに気づくとともに、進級によって自分たちの役割が増えたことが分かり、意欲的に2年生の生活を送ろうとすることができます。 ○身近な植物の栽培に関心を持ち、世話の仕方を自分で調べたり、人に聞いたりしながら、大切に世話する中で、それらが生命を持っていることや成長していることに気付くとともに、愛着をもって、継続的に育てることができます。
5	○まちが大すきたんけんたい	○自分たちで計画を立てて、身近な地域に出かけ、さまざまな場所を調べたり、地域の場所や人との関わりを広げたりするとともに、地域に親しみを持ち、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりすることができます。
6	○めざせ生きものはかせ	○生き物を探して捕まえたり、飼育したりする中で、それらの育つ場所、変化や成長の様子が分かり、自分たちと同じように生命を持っていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切に世話を続けることができます。
7		
9	○えがおのひみつたんけんたい	○身近な公共施設を利用し、公共施設やそこにある公共物は、みんなで使うものであることや、それらを支えている人々がいることが分かり、それらを大切にしたり、安全に気をつけて、正しく利用したりすることができます。
10		○質問をしたり、いっしょに何かをしたりするなどして、地域の人々と関わる活動を通して、地域では生活したり、働いたりしている人がいることや、それらの人々と自分たちの生活との関わりに気付き、地域の人々に親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活したりすることができます。
11	○作ってためして	○身近にあるものを使って動くおもちゃを試作錯誤して作り、友だちと競争したり、工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫して、みんなで遊びを楽しむことができます。
12		
1	○あしたへつなぐ自分たんけん	○自分の生活や成長を振り返ったり、身近な人々にインタビューしたりしてそれらを作品にまとめたり、伝え合ったりする中で、自分ができるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができます。
2		
3		

### 【評価について】

(1) 身近な環境や自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとする。

(2) 具体的な活動や体験について自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現している。

(3) 具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人、社会、自然とかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

### 【学習の特色や工夫】

◆子どもの生活圏である地域を学習の対象や場とし、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして、体験的な活動を中心とした学習をします。◆さまざまな人々と触れ合えるよう、計画しています。

◆驚いたり、感動したりしながら、新たな発見をしたり、気付いたり、そして、深く考えていけるように、子どもたちが自らの思いや願いを実現していく過程を重視していきます。

## 2年生「音楽」

### 【第2学年の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いあるものにしようとする態度を養う。

月	学習すること	学習のねらい
4	1 音楽でみんなとつながろう	○声の出し方を考えて友達と一緒に歌ったり、体うい動かしながら音楽を聴いたりする活動を楽しみます。
5	2 はくのまとまりをかんじ とろう	○拍子の違いに興味・関心をもち、友達と交流しながら体を動かして歌ったり聴いたりします。
6	3 ドレミであそぼう	○互いの声や音を聴き合いながら階名で歌い、旋律の特徴を感じ取って聴いたり表現したりします。
7	4 せいかつの中に ある音を たのしもう	○身の回りの音を探し、それらの音を声で表現したり友達と協力して音楽を作ったりします。
9	5 リズムを かさねて 楽しもう 音楽会に むけて	○拍子とリズムの関わりに関心をもち、拍にのって友達と合わせて歌ったり演奏したりします。
10 ～ 11	6 くりかえしを 見つけよう	○友達の考えを聞きながら、旋律やリズムの反復に着目して表現したり音楽を聴いたりします。 ○いろいろな楽器に親しんで音楽会練習をします。
12	7 様子を おもいうかべよう	○曲想と歌詞の表す様子、音色、旋律の音の動き、強弱や速度との関わりを考え表現したり聴いたりする。
1	8 日本のうたで つながろう	○わらべうたの旋律の特徴から、その良さや楽しさを見出して聴いたり、即興的に音を選んで伴奏を作ったりします。
2～ 3	9 みんなで 合わせて 楽しもう	○歌詞の表す様子、歌声や楽器の音色、旋律やその重なりに気付き、声や音を合わせて表現する。

### 【評価について】

- (1) 音楽のよさや美しさを感じ取って表現したり、音楽づくりをしたりしている。
- (2) 自分の歌声や発音に期を付けてきれいな声で歌ったり、鍵盤ハーモニカ・打楽器などに親しんだり、簡単なリズムや旋律を演奏したりしている。
- (3) 音楽に関心をもち、音楽活動を楽しみながら表現したり、主なふしを口ずさんだり、身体反応をしたりしながら、楽しく聴いたりしている。

### 【学習の特色と言語活動の充実を図る工夫】

- ◆自分の思いを大切にし、表現することを乐しみます。
- ◆きれいな音や声を意識して演奏技能を身に付けます。
- ◆友だちと互いに聴き合いながら曲のよさを見つけ、表現を考えます。

## 2年生「図画工作」

### 【第2学年の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の周りの作品などから自分の見方や考じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

月	学習すること	学 習 の ね ら い
4	すきなことなあに	○クレヨンやカラーペンを使って、したことや見たことの喜びや驚きを素直にのびのびと絵にかくことを味わうようにします。
	ねん土が うごき出す！	○粘土の触り心地を感じて活動します。
	新聞紙と遊ぼう	○体全体を使って、新聞紙で活動します。
5	ぼかしあそび	○クレヨンやパスでこすり出して絵に表します。
	ふしぎな いきもの あらわれた	○白いクレヨンと絵の具で、はじき絵を描きます。
6	みんなで ワイワイ！ 紙けん玉	○仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊びます。
	えのぐじま	○筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描きます。
	くっつきマスコット	○紙粘土と磁石でたのしいマスコットをつくります。
7	大きくそだて、びっくりやさい	○大きく育つ野菜を想像して絵に表します。
9	こんには、むぎゅたん	○「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表します。
	見つけたよ、わたしの色水	○色水をつくりながら思いついた活動をします。
10	いろいろ もよう	○絵の具やカラーペン、インクなどでいろいろな模様を表します。
	のりのり おはながみで	○お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくります。
11	えのぐをたらしたかたちから	○絵の具をたらした模様から想像して、絵に表します。
	えのぐひっぱレインボー	○厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表します。
	しぜんからのおくりもので	○自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動します。
12	どうぶつさんといっしょ	○見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表します。
	すけるんたんじょう	○透明ファイルを切って、ひねったり丸めたりして思いついた生き物を立体に表します。
1	へんしんしよう	○身近なものを使って何かに変身することをたのしみます。※鑑賞として、「小さな美術館」
	あなのむこうはふしぎなせかい	○画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表します。
	めざせ！カッターナイフ名人	○カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をします。 ※カッターナイフの使い方に慣れる。
2	まどのあるたても	○色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくります。
	いっばいうつして	○型紙をつくって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表します。
3	かぶってへんしん	○お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつくって遊びます。

### 【評価について】

- (1) 自手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (2) 表したいことを考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品から自分の見方や感じ方を広げる。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活をくろうとする。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆自分の思いを大切に、表現することを楽しみます。
- ◆身近素材を使っていろいろな方法で作品をつくります。
- ◆自分の作品のよさや友だちのよさを見つけ、鑑賞します。

## 2年生「体育」

### 【第2学年の目標】

- (1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。
- (2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

学期	学習すること	学習のねらい
1	力試し運動遊び	多様な動きをつくること。
	宝とりおに遊び	一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	リズム遊び	軽快なリズムに乗って踊るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	かけっこ	いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	固定施設遊び	登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	折り返しリレー	いろいろな方向に走るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	多様な動き遊び	体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	マット運動遊び	いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転などの基本的な動きを身に付けるようにする。
	水遊び	水につかって歩いたり走ったりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
2	鉄棒遊び	支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりが易しい回転をするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	跳び箱遊び	跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	多様な動き遊び	体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	ゴム跳び遊び	上方に跳ぶなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	的当て遊び	簡単なボール操作によって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	表現遊び	身近な題材の特徴を捉え、全身で踊るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	氷おに 手つなぎおに	一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	3	短縄・大縄
体ほぐし		手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
しっぽ取り おに遊び		一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
ボール蹴り遊び		簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
グニコ・ヘビじゃ んけん		片足や両足で、いろいろな間隔に並べられた輪等を連続して前方に跳ぶこと。また、いろいろな形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりすること
力試しの運動		多様な動きをつくること。
はしご ドッチボール		簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。

### 【評価について】

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けられたか。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養えたか。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養えたか。

### 【学習の特色や工夫】

○1時間の授業の行い方
① あいさつ、健康観察・・・・・・・・元氣よくあいさつします。心と体の状態を確認します。
② 準備運動、慣れの運動・・・・・・・・筋肉や関節の可動範囲や呼吸循環器の機能を高めます。
③ 主運動・・・・・・・・それぞれのめあてにむかひ運動します。
④ 学習のまとめ・・・・・・・・自己評価や相互評価を行い、学習の成果を確認します。
⑤ 後片付け、整理運動、あいさつ・・・協力して安全に片付けます。軽い運動で緊張をほぐします。
○今日の授業での自分のめあてをもたせて課題を解決する学習を進めます。(めあて学習)
○2年生の重点教材・・・・・・・・体づくり運動、ボール投げゲーム、鉄棒遊び、走の運動遊び



## 2年生「道徳」

### 【第2学年の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

月	教材名	ねらい
4	わたしの学校	よりよい学校にしようとする多くの人が働いていることに気付かせ、これらの人々に親しみを持ち、楽しく学校生活を過ごそうとする心情を育てます。
	きれいな羽	友達と助け合い、よりよい関係を築こうとする心情を育てます。
5	およげないりすさん	自分たちとの違いを理由に友達を仲間外れにしても、相手ばかりでなく自分も楽しい気持ちになれないことに気付くことを通して、自分の好みや利害にとらわれないで行動しようとする心情を育てます。
	子だぬき ポン	正直に生活することのよさに気が付き、うそをついたりごまかしたりすることなく、素直に伸び伸びと生活しようとする態度を養います。
	絵がすき 海がすき	自分のよさを考えることを通して、自分の特徴に気が付き、自分らしさを大切にしていこうとする心情を育てます。
	がんばれ ポポ	つらくても頑張り通すことの大切さ、やらなければいけないことを自分の力で成し遂げた喜びと充実感について考え、自分でやらなければならないことは、つらいことがあっても最後までやり抜こうとする心情を育てます。
6	黄色いベンチ	自分勝手な行動が人の迷惑になることに気付かせ、きまりや約束を守り、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てます。
	おにいちゃん、しっかり	健康や安全に気をつけることや物やお金を大切にすることの大切さを改めて理解し、身の回りを整え、わがままをしないで規則正しい生活をしようとする態度を養います。
	しぜんのいのち	身近な自然に親しみ、自然のもつ素晴らしさを感じることで、動植物の命を慈しみ、大切にしていこうとする態度を養います。
	見つけたよ	自分の住む地域の自然や文化、人々との触れ合いを通して地域のよさを考え、地域や国に親しみをもって生活する態度を養います。
7	おふるプール	今に至るまでの自分と家族との関わりを思い出したり、自分に対する家族の気持ちを考えたりすることの大切さを理解したりし、進んで家族のためになることをしようとする心情を育てます。
	雨上がり	「このままじゃいやだな」と感じたり、「どうしようかな」と迷ったり、「よしやろう」と自分で決めたりすることの大切さが分かり、よいと思うことを自分から進んでやろうとする心情を育てます。
9	森のみんなと	自分たちが行った仕事みんなの役に立つことに気が付き、そこにうれしさが生まれたり、やりがいを感じたりするような心情を育てます。
	びよちゃんとひまわり	命が受け継がれていることや自分の命のかげがえのなさに気が付き、今を大切にしていこうとする心情を育てます。
	行ってみたいな	世界には様々な食べ物や建物などがあることや、様々な動物がいることに気付くことを通して、他国の人や文化に親しもうとする心情を育てます。
	水の広場	よいと思うことを進んで行うことのすがすがしさに気が付き、小さなことでもよいことを進んでしようとする意欲を高める。
10	竹馬とーりん車	友達とけんかになったときでも、「相手がどんなことを思っているか」を考えることの大切さが分かり、たとえけんかをして仲直りしたり、仲よく助け合ったりしていこうとする心情を育てます。
	まいごのすず	相手のことを考えて、親切な行為をすることの大切さが分かり、相手のことを考えて親切な行為をしていこうとする態度を養います。
	きらきらみずき	自分のよさを見付け、さらに伸ばそうとする心情を育てます。

	おらもいしゃになる	やらなければならない勉強や仕事を頑張ることが、なりたい自分につながっていることに気付き、くじけず最後までしっかり努力しようとする態度を養います。
11	たからものなあと	自分の生命は周りの人々にとっても大切なものであることに気付き、かけがえのない生命を大切に過ごしていこうとする心情を育てます。
	オレンジ色の木のみ	みんなの必要なものを大切にし、他人に迷惑をかけずに生活することがよりよい生活につながることに気付き、約束やきまりを守ろうとする態度を養います。
	青いアルバム	「おはよう」「こんにちは」などの挨拶には、自分と相手の心をつなぐ不思議な力があることが分かり、挨拶してくれた人の気持ちを想像したり、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしたりしようとする心情を育てます。
	ごめんね、みなみ	人間の何気ない行動が動植物に大きな影響を与えていることに気付き、動植物のためにできることを考え、大切にしていこうとする態度を養います。
12	つくえふき	差別された側の心情を共感的に理解することを通して、自分と相手との関係だけで判断してはならないという心情を育てます。
	ぐみの木と小鳥	困っている人を思いやり、相手のことを考えて、進んで親切にしようとする心情を育てます。
	みかんの木の寺	うそをついたりごまかしたりしないで、他人に対しても自分に対しても正直な心でいようとするこのよさに気付いた主人公の姿を通して、正直に行動し、明るい気持ちで生活を送ろうとする意欲を高める。
1	だっこしながら	生きることのすばらしさに気付くことを通して、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てます。
	きつねとぶどう	自分を支えてくれている人の存在や思いに気付き、日頃世話になっている人々に感謝する心情を育てます。
	グローブのへんしん	人の意見を聞いたり、自分のできることを考えたりすることのよさに気付き、物を大切にすることを通して、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れようとする心情を育てます。
2	広がるあいさつ	言葉を発しない「無言の挨拶」にも、様々な思いや願いが込められていることが分かり、相手が発する心の声に耳を傾けようとし、心の中を自ら届けようとする心情を育てます。
	ころきちのバイオリン	自然が織りなす美しい風景や清らかな登場人物の心を描いた物語に触れて、素直な心情を育てます。
	公園のおにごっこ	自分より幼い子に対して、相手の気持ちを自分なりに理解し、親切な行為を行うことを通して、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れようとする心情を育てます。
3	みんなのニュースがかり	過ちを認め、自分がよいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てます。
	「美字は、みう。」	自分のよさや長所に気付き、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てます。

#### 【評価について】

◆内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではないので、道徳においての数値の評価はしません。道徳の時間での発言、グループでの話し合いの様子、ワークシートやノートへの記入、役割演技、自己評価、相互評価などから、記述による評価としています。

#### 【学習の特色や工夫】

◆道徳の授業は主に

- A 自分自身について（生活習慣・善悪の判断・誠実・勤勉・努力・責任・個性伸長など）
- B 人とのかかわり（礼儀・思いやり・感謝・友情・信頼・相互理解・寛容など）
- C 集団や社会とのかかわり（規則・公正公平・正義・家族愛・集団生活・伝統文化・国際理解など）
- D 命や自然・崇高なものとのかかわり（生命の尊さ・自然愛護など）

といった4つの内容項目に分類されています。

道徳の学びは学校の授業の時間だけではなく、家族で過ごす時間、また動植物と触れ合う機会もあると思います。小さな命も大切にすることや、公共のマナー・きまりはなぜあるのかなど、さまざまな体験を通して、ご家庭でも話し合ってもらえると、今後の道徳の授業へと繋がっていくことでしょう。

授業では、場面絵や大型画面を使用して、児童の興味関心を深めたり、登場人物の心情を考えたりします。最後に自分のこととして、自己の生き方との関わりで考え、振り返りをします。また小グループでの話し合いや、ワークシートを使用したりして、自分の考えを深める工夫をしています。

## 2年生「学級活動」

### 1 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

学級活動(1)	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 ウ 学校における多様な集団の生活の向上	イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
学級活動(2)	ア 基本的な生活習慣の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
学級活動(3)	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

### 2 学級を単位として、仲よく助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組も

月	(1) 学級や学校の生活づくりへの参画 【24時間】	(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現【(2)(3)合わせて11時間】	
	予想される議題、活動	1単位時間	短時間で指導する題材
4	・クラスのめあてを考えよう ・学級会の名前を決めよう	(3)ア 2年生になって	・気持ちのよいあいさつをしよう ・火災時の避難の仕方
5	・クラスが楽しくなる係を決めよう ・クラスのシンボルマークを考えよう	(3)イ 掃除の仕方 【キャリア教育】	・好き嫌いを減らそう【食育】 ・知らない人との接し方
6	・なかよくボールを使おう ・クラスのシンボルマークを旗に ・雨の日やるゲームを考えよう	(2)ウ こんにはおとなの歯 【歯科指導】	・プールでの約束
7	・お楽しみ会の計画を立てよう ・お楽しみ会をしよう	(3)ア 楽しい夏休みをおくろう	・きまりを守ろう
9	・2学期の係を考えよう ・運動会の合言葉を決めよう	(2)ア 2学期のめあてをたてよう	・地震の時の避難の仕方 ・運動会がんばろう
10	・秋祭りのおみこしのデザインを考えよう ※生活科との関連	(3)ウ 本を大切にしよう (本の正しい扱い方)	・よく見える目 ・わずれものをなくそう
11	・1年生と遊ぶ会の計画を立てよう ・1年生と遊ぶ会をしよう	(2)ウ 安全な登下校	・危ない火遊び ・働く人に感謝しよう
12		(3)ア 冬休みの過ごし方	・皮膚を丈夫に
1	・新しい係を考えよう ・思い出の本をつくろう	(2)ウ 寒さに負けない元気な子	・3学期のめあてをたてよう ・言葉遣いに注意しよう
2	・6年生にありがとうを伝えよう ・クラスのありがとう集会の計画を立てよう	(2)ウ わたしの誕生と家族の喜び【性教育】	・安全な避難のしかた
3	・ありがとう集会をしよう	(3)ア もうすぐ3年生	・6年生ありがとう ・教室をきれいに

うとする態度の育成に資する活動を行います。

### 3 学級活動では、(1)、(2)、(3)それぞれ次の3つ観点から子どもの学習の様子を評価します。

#### 学級活動(1)の活動の様子

- [1] 学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童との協力や集団活動への取り組み。
- [2] 学級生活を楽しくするための話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法への活動。
- [3] みんなで学級生活を楽しくすることの大切さ、学級集団として話し合いについて理解している。

#### 学級活動(2)(3)の活動の様子

- [1] 自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常の生活や学習に取り組む。
- [2] 学級生活の課題について、自分に合ったよりよい解決方法などについての実践。
- [3] 学級生活を楽しくすることの大切さ、基本的な生活や学習の仕方などについての理解。

### 4 学習の特色と言語活動の充実を図る工夫

- [1] 学級活動(1)では、学年、学級での計画、児童からの議題などから児童と一緒に計画を立てます。
- [2] 実践したことや体験したことを記録したり自分の言葉で発表したりできるようにします。